

2008 平成20年

# ふいあい 放水水路

2 月号 vol.167

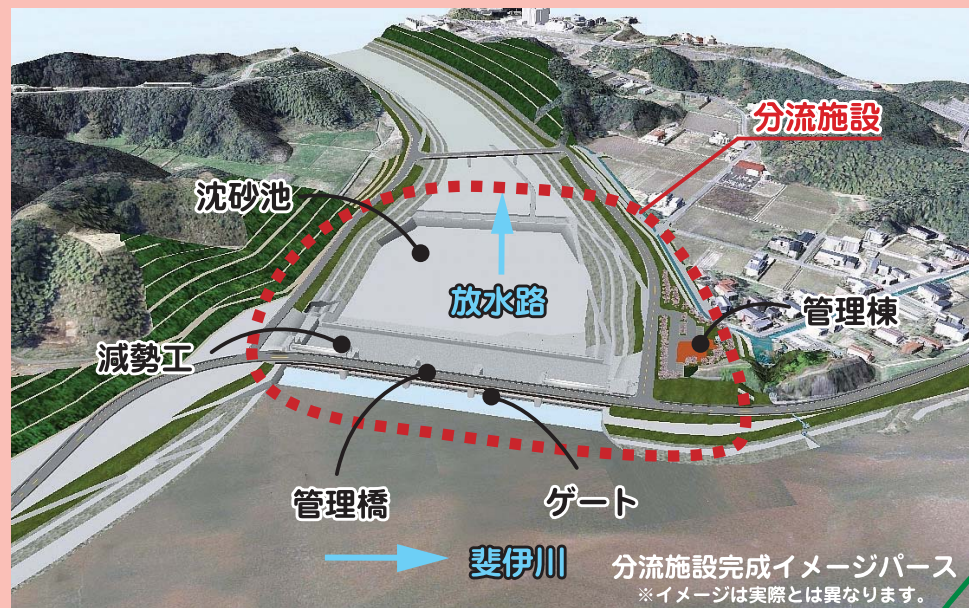
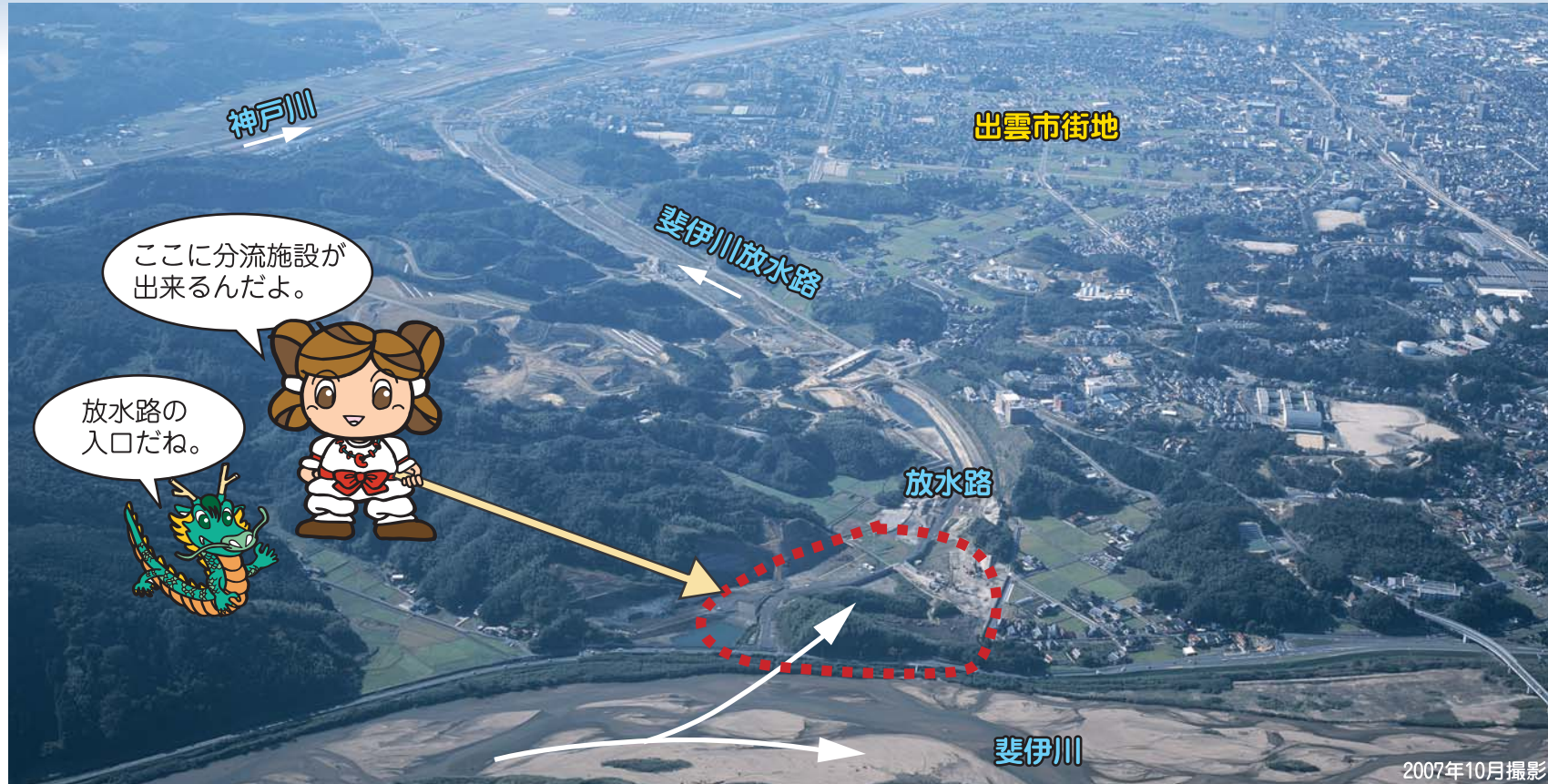
Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



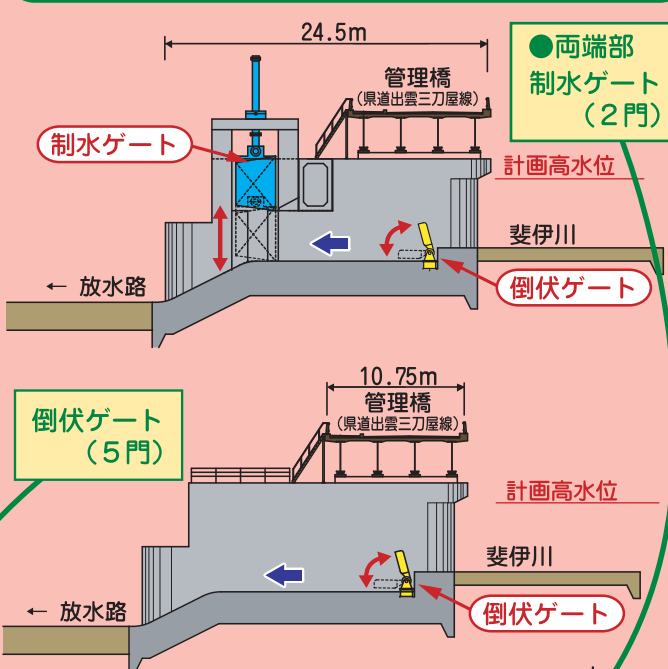
## 特集 斐伊川からの分流点 斐伊川放水路分流施設の役割と構造

節分祭  
出雲市佐田町の神戸川の支川須佐川  
沿岸に須佐神社が鎮座しています。  
2月3日節分の日、第20回節分祭が  
行なわれ、多くの人で賑わいました。

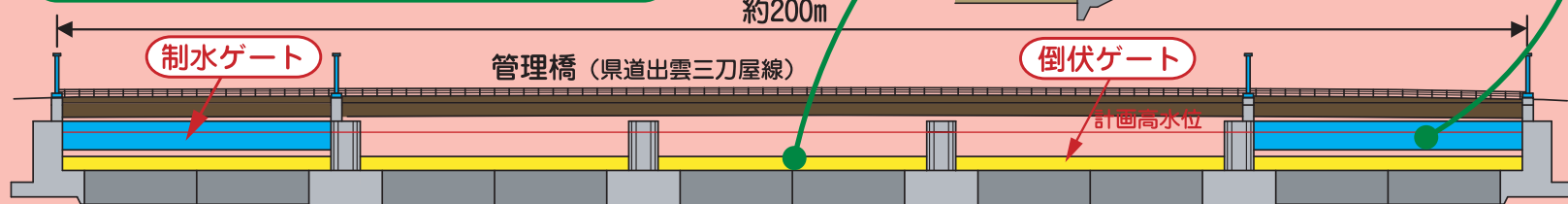
# 斐伊川からの分流量 斐伊川放水路分流施設の役割と構造



## ゲート詳細図



## ゲート正面図

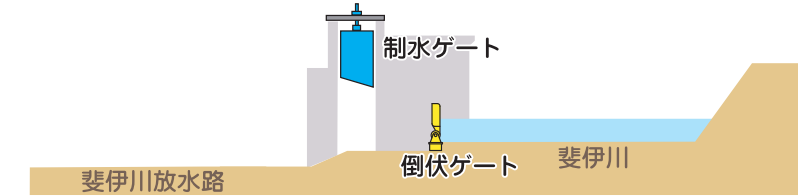


【分流施設計画諸元】 堰長：約200m、制水ゲート：2門、倒伏ゲート：5門、管理橋 (県道出雲三刀屋線)：L=約200m、W=10.75m、沈砂池：1式、管理棟：1式

斐伊川放水路分流施設は、斐伊川の洪水を放水路に分流させ、神戸川を通して大社湾へ流すための施設です。斐伊川の流域で2日間平均約400mmの雨が降った場合を想定して、斐伊川を流れる最大毎秒4,500m<sup>3</sup>の洪水量のうち、毎秒2,000m<sup>3</sup>の水を放水路に分流させ、下流の地域を洪水から守ります。分流施設は、斐伊川が増水した時、その一部を斐伊川放水路に分流させるためのとても重要な施設です。

## 分流する流量を調整するゲートのしくみ

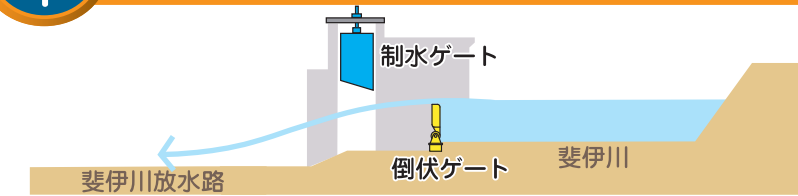
通常は・・・放水路に水は流れ込みません



倒伏ゲートが閉じているため、放水路に水は流れません。

Step 1

大雨が降ると・・・倒伏ゲートを自然に越えた水が放水路へ流れます



斐伊川本川の流量が毎秒約400m<sup>3</sup>を超えると、倒伏ゲートを越えて、放水路へ自然に分流を始めます。

Step 2

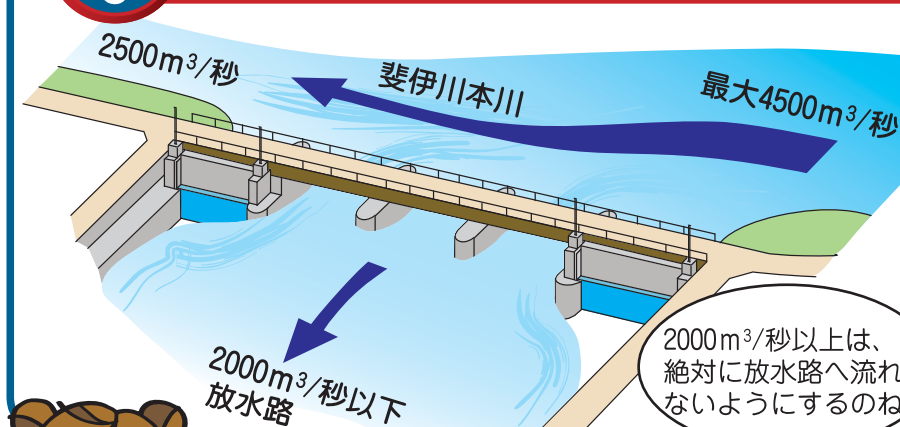
さらに大雨が降り続けると・・・倒伏ゲートを倒し、放水路へ水を流します



本線流量が毎秒約500m<sup>3</sup>を超えると、倒伏ゲートを倒す操作を開始し、斐伊川本川流量と放水路への分流量が概ね5：4になるようにします。

Step 3

計画規模の雨が降った場合・・・制水ゲートを締めて放水路へ流れる水を制御します

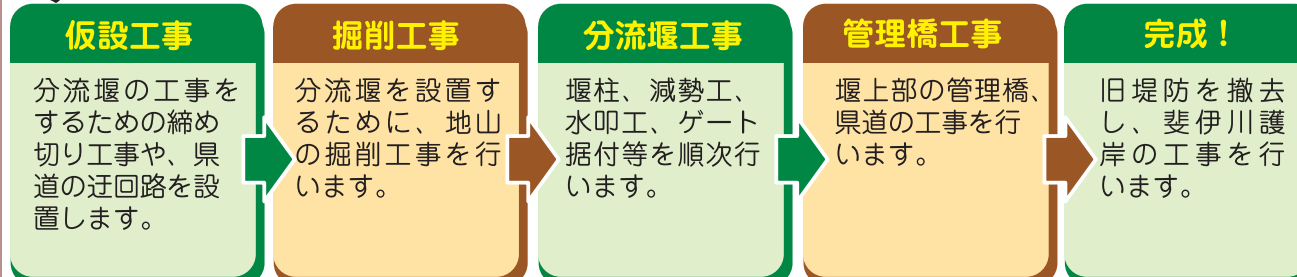


本川流量が計画流量毎秒4,500m<sup>3</sup>になった際などに放水路への分流量が毎秒2,000m<sup>3</sup>を超える恐れがある場合は、制水ゲートを降ろして、放水路への分流量を毎秒2,000m<sup>3</sup>以下にします。

2000m<sup>3</sup>/秒以上は、絶対に放水路へ流れないようにするのね



## 今後の工事の進め方



## 新内藤川の旧排水機場・一文橋の撤去工事を開始しました

永きにわたり使用されてきました新内藤川の旧排水機場と一文橋の撤去工事を開始しました。撤去工事に併せて、新内藤川と午頭川をわけている仮設矢板の引抜き作業を行い、撤去後、新内藤川左岸へ低水護岸を施工します。工事中は、ご迷惑をおかけしますが、ご協力頂きます様、よろしくお願いいたします。



## 宍道湖バードウォッチング2008 が行なわれました

斐伊川水系を訪れる野鳥たちの観察を通じて、河川環境の保全について理解を深めて頂こうと、一月二十七日、ホシザキグリーン財団・ゴビウスの協力のもと「宍道湖バードウォッチング2008」を開催しました。家族連れなど三十六人が参加し、野鳥観察を楽しみました。

宍道湖グリーンパークを出発した後、バスによる移動で斐伊川河口付近から西代橋などを巡るルートで観察を行いました。前夜に引き続き、この日も朝から雪の降る天候の中で、野鳥が観られるか心配されましたが、キンクロハジロ等が羽を休める様子や、コハクチョウやマガンが群れを成して飛び立つ様子など、様々な野鳥が観られ、みなさんを喜ばせてくれました。



マガンの群れだよ。



## 工事発注情報

- 斐伊川放水路馬木地区低水護岸工事  
H20.1.29～H20.6.30 大福工業(株)



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail: izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.izumokasen-mlit.go.jp/>